

## 求菩提山と修験道

求菩提山の高さは782mです。求菩提山全体が国の史跡（※）に指定されています。

求菩提山には、その昔、山伏と呼ばれる人たちが住んでいました。山伏たちは山の中で生活をし、厳しい修行を行っていました。山伏たちは山の中での修行を通して、「験力」を手に入れようとしていたのです。験力というのは、人の力を超えた、神様が持っているような不思議な力のことです。山伏たちはこの力を使って人々を助けたいと思っていたのです。そこで験力を手に入れるため、毎日修行に励んでいました。これを修験道といいます。修験道は、仏教やキリスト教と同じく宗教のひとつです。



※史跡とは…歴史の上で名高いできごとや建物があつた場所。

## 山の歴史

求菩提山にいつ頃から人が来ていたのでしょうか？求菩提資料館に残っている古い記録には「526年（今から1500年くらい前）に、猛覚魔ト仙という人が求菩提山に登った」と書かれています。しかし、そこに書かれていることは、本当のことかどうか、よくわかりません。はっきりとしたことがわかるのは、今から900年ほど前、平安時代といわれている時代です。この頃に「頼厳」というお坊さんが求菩提山に来て、修験道がさかんになりました。

修験道は明治時代の初め（今から150年くらい前）まで750年間ほど続きますが、政府によって禁止されてしまい、山伏たちは山を離れることになりました。



### 頼厳

求菩提山に修験道をもたらしたお坊さんです。お寺のお堂をつくり直したり、銅板法華經（国宝）を作ったり、千日行（※）を行ったり…。とても活躍しました。

※千日行とは…位の高い僧侶になるために1000日間連続して修行をすることで、とても厳しいものでした。